



V5.0

V4.2 から V5 へ

の変更点

1.2 版

2010 年 05 月 12 日



改訂履歴

2010 年 03 月 01 日

初版

2010 年 03 月 26 日

1.1 版

ライセンスエディタの削除について記述追加

2010 年 05 月 12 日

1.2 版

動作保証対象プラットフォームの追加

ご注意

TextPorter V4.2 から V5 へは、コンパイラの変更、API の変更など大幅な変更が行われています。

TextPorter のバイナリを差し替えるだけでは動きません。

TextPorter V4.x を使っているアプリケーションが、V5 に移行する際は、必ず、クリーンな再ビルドをしてください。

■ 対応プラットフォームの変更

動作対応プラットフォームに、Windows 7(32bit/64bit)、Windows Server 2008(32bit/64bit)、Windows Server 2008 R2(64bit)を追加しました。

AIX, HP-UX は現在対応しておりません。ご要望があれば、弊社 oem@antenna.co.jp までご相談ください。

■ コンパイラの変更

コンパイラを変更しました。コンパイラの変更に伴い、実行時に必要なランタイムライブラリも変更されました。

Windows は、Visual Studio 2008 でビルドするようになりました。

動作には、msvcr90.dll, mvcp90.dll が必要になります。

システムにインストールされていない場合は、製品パッケージの **redist** ディレクトリにある「Microsoft Visual C++ 2008 SP1 再頒布可能パッケージ」をインストールしてください。32bit 版は vc_redist_x86.exe, 64bit 版は vc_redist_x64.exe です。

Linux は、32bit, 64bit とともに、gcc 4.1.2 でビルドするようになりました。

動作には、libc-2.5.so, libstdc++.so.6 以上が必要です

■ DMC_TEXTINFO 構造体の変更

text_oem.h にある DMC_TEXTINFO 構造体が廃止され、DMC_TEXTINFO_V5 構造体が追加されました。

■ V3 API の廃止

text_oem.h から DMC_GetXXX_V3 といった、TextPorter V3 用の API が廃止されました。

■ V5 API の追加

text_oem.h に DMC_GetXXX_V5 といった、TextPorter V5 用の API が追加されました。

V4 の API も残していますが、V5 の API に移行することを強く推奨します。次期バージョン

ョンでは、V4 の API は廃止します。

■ Windows 用 Unicode ファイル名 API の追加

text_oem.h に DMC_GetXXX_V5W といった、Windows 用 Unicode(UTF-16)ファイル名に対応した API が追加されました。Windows 版のみ有効です。

■ IBM 外字、NEC 選定 IBM 外字の扱いの変更

IBM 外字、NEC 選定 IBM 外字の扱いを Windows API に合わせて変更しました。

従来は、Unicode から Windows31J に変換する場合、たとえば、U+9AD9「はしご高」は、0xEEEO に変換していました。V5 では、Windows API に合わせて、0xFBFC に変換します。

詳しくは、

<http://support.microsoft.com/kb/170559>

を参照してください。

■ PDF の抽出における DMC_GETTEXT_OPT_OLE 系のオプションのサポート

V4.2 では、PDF の添付ファイルは、DMC_GETTEXT_OPT1_INSERTF 系のオプションを使わないと抽出できませんでした。

V5 では、便宜のために、DMC_GETTEXT_OPT_OLE 系のオプションが指定されると、DMC_GETTEXT_OPT1_INSERTF 系のオプションが指定されたものとみなすことになりました。

同様に、DMC_GETTEXT_OPT1_INSERTF 系のオプションを指定した場合、DMC_GETTEXT_OPT_OLE 系のオプションが指定されたものとみなします。

■ サンプルプログラム改訂

app_ww, app_ll, app_ss など、サンプルプログラムが全面的に改訂されました。

■ Java インターフェース改訂

Java インターフェースは、大幅に改訂されました。

V4 のインターフェースは従来通りですが、V5 のインターフェースでは、get/set が逆だったのを、訂正しました。

Java インターフェースは、Java 6 でコンパイルしています。

したがって、jar や class ファイルは、JDK 1.4.2 でコンパイルされた V4.x のものとは、バイナリ互換性がありません。

Java インターフェースを使うソフトは、Java 6 で再ビルドをしてください。

■ COM インターフェース改訂

COM インターフェースは、大幅に改訂されました。

To_com インターフェースはバージョン 5.0 となり UUID が変更されました。

IConvertapp の V4 のインターフェースはストリーム出力が廃止されたこと以外は、従来通りですが V3 のインターフェースは廃止されました。

V5 では、ITextPorter クラス、ITextPorterFileInfo クラス、ITextPorterTextInfo_V5 クラス、ITextPorterProperty クラスが新設されました。V5 のインターフェースを利用するには、これらのクラスを使ってください。

■ Perl インターフェース改訂

V4 のインターフェースは従来通りですが、V3 のインターフェースは廃止され、V5 のインターフェースが追加されました。

■ 一太郎 8 以降の識別結果変更

“Ichitaro 8/9/10/11/12/13/2004/2005/2006/2007”

を

“Ichitaro Document”

に変更しました。

■ 一太郎 2008/2009/2010 のサポート

一太郎 2008/2009/2010 からの抽出をサポートしました。

識別結果は、“Ichitaro Document”になります。

■ AutoCAD 2000 系、2004 系の識別結果変更

“AutoCAD 2000/2002/2004/2005/2006 DWG”

を

“AutoCAD 2000 DWG”

に変更しました。

■ AutoCAD 2007(2007/2008/2009)系のサポート

AutoCAD 2007 系(2007/2008/2009)からの抽出をサポートしました。

識別結果は、DWG の場合は、

“AutoCAD 2007 DWG”

DXF の場合は、

“AutoCAD 2007 DXF”

になります。

■ OpenOffice.org 3.1 のサポート

OpenOffice.org 3.1 からの抽出をサポートしました。OLE には対応していません。

識別結果は、

"Open Office V3.1 Calc"

"Open Office V3.1 Draw"

"Open Office V3.1 Presentation"

"Open Office V3.1 Writer"

になります。

■ Word/Word2007 のマクロボタン対応

Word/Word2007 のマクロボタンにある表示テキスト文字列の抽出に対応しました。

■ ライセンスエディタの削除

CPU ライセンスのお客様向けに付属していたライセンスエディタは、付属しなくなりました。